

武漢熱線

大分市武漢事務所 全 淑麗

Wu-han Hot Line

武漢の輸入商品取扱スーパーについて

ウォルマート、メトロ、武商量販、中百などのスーパーマーケットでは、日本のポテトチップス、オーストラリアのパスタ、アメリカのケチャップ、ベトナムのドライフルーツなどの、多くの輸入商品が販売されています。値段は数元から数百元までありますが、綺麗な包装、求めやすい価格で、輸入商品の人気はますます高まっています。

中外合資のスーパーは、外資系企業の資本力で、人気商品を海外原産地から安く仕入れることができます。アメリカ系のウォルマートは、2014年に各店舗の輸入商品コーナーを倍以上に広げ、売上が30%以上増えました。

地場のいくつかの大型スーパーは直接購入方式を採用しており、ディーラーから希望商品を共同購入し、中間マージンを省くことで、商品価格を抑えています。武商量販では、2年前に武漢武商輸出入貿易有限公司を設立し、アメリカ、フランス、オーストラリア、日本、シンガポールなどの商社、企業と直接購入協定を締結しています。これにより、輸入商品の売上は年間50%増加しており、2014年に3億元を突破しました。中百の輸入商品の売上も年間30%増加しています。

武漢のマーケットにとって、2014年は外資系大企業参入の年となりました。9月にはスウェーデンのIKEAと日本のニトリが相継いでオープンしました。12月にはアメリカのウォルマート傘下の会員制スーパーマーケット「Sam's Club」と、日本のイオンモール武漢1号店が開業しました。また、華中地域における初の免税店「光谷保税展示取引センター」もオープンしました。外資系大企業の参入は、武漢地域の商業的な重要性を表しており、武漢市民の消費能力が拡大していることを意味しています。

イオンモール武漢金銀潭店



イオンモール武漢金銀潭店

イオングループは武漢市内に5年間で5ヶ所の大型ショッピングモールを建設する予定です。金銀潭店は武漢市だけではなく、沿海部以外の地域で初のイオンモールでもあります。敷地面積は約8.8万㎡で、開業初日の来場者数は11万人を超えたそうです。商品の90%が現地調達ですが、プライベートブランドの「TOP VALU」から1,200点の商品を調達し、日本商品は、主に1階と2階の目立つ場所に配置しています。

また、15,000㎡のフードスペースを備えており、1階にはラーメンや牛丼など、日本の飲食店が集中しています。

また、日本の女性向けファッションブランド「FLAXUS TOKYO」、若者向けファッションブランド「E hyphen world gallery」、時計専門店「THE CLOCK HOUSE」、まつげ美容サロン「BLANC」等のニューブランド27社が出店しています。ほとんどの店舗が中国初参入であり、日系ブランド数は武漢随一となっています。

Sam's Club(サムズ・クラブ)

ウォルマート傘下の「サムズ・クラブ」は華中地域初の出店で、中国では11店舗目となります。売場面積約2.3万㎡で、



Sam's Club

主に生鮮食品、乾燥食品、家電製品、インテリア、衣料品など、国内外の有名ブランド商品4,000点以上を取り扱っており、そのうちの30%以上を輸入商品が占めています。

サムズ・クラブは会員制で、年会費が150元かかりますが、全世界の800店舗で通用します。中国に進出して18年間で約130万人が会員登録しています。良質な商品、快適な売場環境、優れたサービスにより、会員継続率は70%を保持しており、ネットショップの会員継続率は90%以上に達しています。

倉庫とスーパーを一体化する方式を採用し、高品質、人気商品のみを取り扱うコンセプトのもと、商品を大量に仕入れ、包装の簡素化等によりコストを抑えることで、良質、安価な輸入商品を提供し、会員の信頼と好評を得ています。アメリカのリンゴ、チリのチェリーとブルーベリー、ニュージーランドのキウイフルーツ、メキシコのアボカド、オーストラリアの牛肉、アルゼンチンのエビなど、世界中の名産地から輸入された生鮮食品などが人気です。

光谷保税展示取引センター



光谷保税展示取引センター

光谷保税展示取引センターは華中地域初の免税店として、東湖総合保税區に開設されました。展示面積は4,000㎡で、欧米、日本、韓国、東南アジア、オーストラリア等、33の国及び地域からのブランド品4000点余りが陳列されています。酒類、ベビー用品、美容・健康商品、果物、ファッション用品、電化製品の6大輸入商品を主体に取り扱っており、国際的なブランド商品も200点程度含まれています。

現在は1階の2,000㎡のみをオープンしており、食品エリア、ベビー用品エリア、美容・健康商品エリア、生鮮食品エリア、ワインエリアに分けて輸入品の販売を行っています。

保税區での買い物は、海外での買い物に相当し、値段もデザインも海外と同じです。保税區内で買物をし、保税區外で商品を受取ります。当該センターの粉ミルク、カバン、フルーツ、ワイン等の販売価格は市場価格に比べて10～20%ほど安く、中には50%以上安くなっている商品もあります。

担当者に、なぜ安くできるのか聞いたところ、これまでのように上海で荷揚げ・通関し、各販売店まで運んで販売するのではなく、武漢市の保税區に直接荷揚げし、その場で販売することで、物流コストを大幅に削減することが可能となり、販売価格も安くできるとのことでした。

ここ数年、中国では都市化が進み、中間層の消費力もだんだんと高くなってきています。武漢でも輸入商品が市民生活に浸透しており、これからも豊富な品揃えと求めやすい価格で市民生活を豊かにするとともに、輸入商品を取り扱う企業の急速な成長が期待されています。